

令和2年度 第1回 旭区区政会議（活力・安全部会）におけるご意見等への対応（方針・状況）等について

※ 分類 ① 対応済み ② 令和2年度中に対応予定 ③ 令和3年度に対応予定（運営方針への反映を含む）
 ④ 今後引き続き検討 ⑤ 対応困難または対応不可 ⑥ その他

番号	委員名	運営方針等		ご意見等	対応（方針・状況）等 （対応できない場合は具体的な理由）	分類	担当
		年度	具体的取組				
経営課題4【地域防災力・地域防犯力の強化】関連							
1	小林委員	2年度	4-1-1 地域防災意識の向上	コロナ禍での避難所の開設について説明を受けたが、各地域に温度差があり、説明を受けたように各地域が対応できるのか不安です。小学校と中学校の両方に避難所がある場合、どこに誰が避難するかの割り振りができていない現状があります。コロナ禍で地域での訓練ができない中、コロナ対策をすると非常に混乱しますし、避難者を収容できないことも考えられます。	コロナ禍でもあり訓練できない状況が続いていますが、例えば新森地域では、職員と地域の方で人数を絞ったうえで会館を利用して受付のシミュレーションを実施しました。他の地域の方には、新森地域で行った訓練の様子を映像や画像で全地域に配信しました。また、第1回の区政会議以降、コロナ対策訓練を大宮地域、清水地域でも開催しました。引き続き区の防災地域担当者が地域の防災会議に出席して、課題について地域の皆様と一緒に考えてまいります。コロナ禍での災害時には、密を避けるため、可能な方はできる限り在宅避難としていただくようお願いしております。 （R2.8 活力・安全部会にて回答済み）	①	市民協働課 （防災安全）
2	小林委員	2年度	4-1-1 地域防災意識の向上	地域防災でご近助に関することを入れていますが、自助への取組の観点が欠けていると思います。今は近隣の人の入れ替わりも頻繁で、ご近助優先が非常に難しいので、自助に関するPRをお願いしたいと思っています。	旭区では令和2年3月末に、旭区の地域防災計画を改訂し、自助・共助・公助の違いを明確に記載しました。また、区ホームページでも公開しているほか、地域の自主防災組織や防災リーダー、災害救助部長、町会長にも周知させていただいています。 （R2.8 活力・安全部会にて回答済み） （追加説明） 地域の防災活動のみならず、日頃からの近所付き合いによるコミュニケーションの促進等については、市民協働担当も町会の加入促進、地域担当による町会長会議の参加やワークショップの開催などを行っています。防災安全担当も、市民協働担当と連携を行い、地域の防災活動の支援を行っていきます。	①	市民協働課 （防災安全）
3	小林委員	2年度	4-1-1 地域防災意識の向上	防災情報を区役所のホームページに掲載しているとのことですが、高齢者には閲覧することが難しいです。文書で目で見るといい形にしたいと思います。	ホームページの閲覧が難しい場合は、防災担当にお申しつけいただきましたら、冊子をお渡しさせていただきます。また、隔月で地域防災担当者会議を開催しており、災害救助部長、防災リーダー隊長に情報を共有させていただくことに加え、ホームページだけでなく広報紙でも掲載を行っています。	①	市民協働課 （防災安全）
4	阪本委員	2年度	4-1-2 地域防災力の底上げ	コロナ禍ではありますが、警察との連携協力はどのような状況でしょうか。	平成31年2月に旭警察署及び消防署と包括協定を締結し、最近の連携では城北運河沿いに新たに防犯カメラを設置しています。コロナ禍では、感染防止の観点から啓発キャンペーン等が開催できませんが、非接触型の啓発活動について警察と協議を進めています。また、千林商店街で毎年実施している自転車のマナーの啓発活動については、放送で対応いただくよう協力をお願いしています。 （R2.8 活力・安全部会にて回答済み） （追加説明） 防災関係では、隔月に開催をしています地域防災担当者会議に警察・消防担当も出席しています。また、防犯関係では、毎月、警察・消防担当者と打ち合わせを行っています。その中で、課題を持ち寄り、協議し、連携強化に努めています。	①	市民協働課 （防災安全）